

大阪駅北地区(うめきた)



産学官が連携して取り組む、関西の都市再生をリードするまちづくり

JR大阪駅の北側にある梅田貨物駅の用地を中心としたエリア。「都心に残された最後の一等地」として、また、関西再生の切り札として快適で活力に満ちた、世界に誇れるまちづくりを目指して、産学官が総力を結集して進めているプロジェクトです。

UR都市機構では、第1期土地画整理事業の施行者として都市基盤を整備し、地区の開発コンセプトの中核である知的創造拠点を創出すべく、事業者を誘致するなど、民間都市再生事業を総合的にプロデュースしています。

地区の情報

- 所在地： 大阪府大阪市北区
- 区域面積： 約8.6ha
- 事業手法等： 土地画整理事業（機構施行）、土地有効利用事業
- 事業スケジュール：
 - S62 梅田貨物駅用地を国鉄清算事業団（現・（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構）に承継
 - H14. 1 大阪市からコーディネート実施の要請
 - H14. 7 都市再生緊急整備地域第一次指定
 - H14. 9 国際コンセプトコンペ実施（H15.3結果公表）
 - H16. 7 まちづくり基本計画公表（大阪市）（知的創造活動の拠点（ナレッジ・キャピタル）形成など）
 - H16.11 関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会からの土地取得要請
 - H16.12 都市計画決定（土地画整理事業、道路等）
 - H17. 3 UR都市機構が用地（先行開発区域の一部）を取得
 - H17. 6 土地画整理事業の事業計画認可（当初）
 - H18. 2 開発事業者募集（鉄道・運輸機構との共同公募）
 - H18. 4 土地画整理事業の事業計画認可（変更）
 - H18.12 開発協議会設立
 - H19. 6 土地譲渡契約に伴う事業者への土地引渡し
 - H2 3. 5 土地画整理事業の事業計画認可（第2回変更）
 - H2 4年度 まちびらき（予定）

UR都市機構の役割

プロジェクト全体の総合的なコーディネート

- 国際コンセプトコンペの実施や、プロジェクトの全体構想の策定など、初期段階から全体のコーディネートを推進

企画提案方式による立地誘導

- 一体的なまちづくりとナレッジ・キャピタル実現のため、土地所有者として他の所有者とともに事業企画提案方式により、開発事業者を誘導
- 開発協議会を設置・運営し、開発事業者とともに開発推進のための協議・調整を実施

開発事業者と連携した基盤整備等の実施

- 事業者と連携し、土地画整理事業による都市計画道路、広場などの整備を実施、一体的な基盤施設整備を実現



[地区全景(整備中)]

[梅田貨物駅等跡地全体の土地利用ゾーニング]

